山田高が頂点

東奥日報

〒030-0180
青森市第二問屋町３丁目１番89号
東　奥　日　報　社
電話　017-739-1111
(C)東奥日報社 2004

インターネット号外

ご購読のお問い合わせは
東奥日報社販売局
0120-46-5939
ヨム　コウドクサンキュー
24時間受付

2年連続6度目の甲子園

【山田高―光星】２回表、山田高１死満塁、加守田が左前に適時打を放ち４―０とリード。捕手・戸田＝青森市営

▽決勝

山田高	0	5	1	2	0	0	0	0	0
光　星	0	0	0	1	0	0	0	0	0

―　1　8

(山)柳田―加守田
(光)中屋敷、桑鶴、村松、田澤―戸田
▽本塁打＝柳田（山）坂本（光）

第87回全国高校野球選手権青森大会は最終日の24日、青森市営球場で決勝戦を行い、山田高が８―１で光星を破って２年連続６回目の甲子園出場を決めた。山田高は昨年夏、今年春の選抜に続き３季連続の甲子園出場。

山田高は二回、一死二塁で金子の中前打で１点先制。さらに満塁とした後、近藤と田守が連続で押し出し四球を選び２点追加、加守田、柳田が連打で続き、結局この回打者11人を送り５点を奪った。三回にも１点を加えた後、四回にも柳田の今大会２本目となる本塁打などで２点を挙げ大きくリードした。

先発柳田は威力のある球で光星打線に連打を許さなかった。四回には坂本に本塁打を浴びたが、９三振を奪う力投を見せた。

詳細は朝刊で

(C)2005 THE TO-O NIPPO　http://www.toonippo.co.jp/